



ご挨拶

国連SDGsやパリ協定を機に、環境問題をはじめとする社会課題の対応が企業に求められています。地球温暖化、エネルギー、資源の枯渇等の環境課題を真剣に捉え、未来ある次世代のうつくしい地球環境を維持していくことこそ重要な課題と考えます。

当社は1976年創業以来、リサイクルを中心にお客様のニーズに合ったクリーンな環境を創造してまいりました。リサイクル率100%を目指して日々処理技術の向上に努め、高度資源リサイクルのあらゆる可能性にチャレンジし、私たちの一歩が、皆様一人ひとりの快適な未来へつながっていく、その強い想いを持って歩み続けています。

地球にやさしい環境を維持するとともに持続可能な資源循環型社会の実現、並びに2050年カーボンニュートラルを目指し、ソリューションカンパニーとしてイノベーションを創出し、全てのステークホルダーの皆様より信頼されるよう、ESG（環境・社会貢献・ガバナンス）経営を推進してまいります。

代表取締役社長 星山 健

会社概要 *Company Profile*

商 号：株式会社 ダイトク

設 立：昭和51年7月

資本金：9,800万円

代表者：代表取締役社長 星山 健

従業員数：90名（2025年1月現在）110名【グループ会社合計】

売上高：2,800百万円（2024年度）3,300百万円【グループ会社合計】

事業内容：●各種廃棄物のリサイクル

●使用済みOA機器関連のリサイクル処理

●産業廃棄物収集運搬及び処分

●一般貨物自動車運送業

●産業排水処理

●有価物の加工処理

グループ会社：大阪クリーンテック株式会社

1976年 7月	株式会社大特産業設立
1978年 4月	産業廃棄物収集運搬許可取得
1996年 8月	一般貨物自動車運送事業許可取得
1999年 10月	OA機器・電子機器リサイクル事業開始
1999年 12月	産業廃棄物処分業許可取得
2000年 4月	「廃サプライ品リサイクル」事業開始
2001年 3月	本社「ISO14001」認証取得
2003年 3月	株式会社ダイトクへ社名変更
2003年 7月	本社・全工場「ISO14001」認証取得
2003年 8月	羽生工場・リサイクルセンター開設
2004年 3月	資本金9,800万円（増資）
2005年 9月	廃プラスチック中国輸出許可取得
2005年 11月	摂津市新在家に本社移転
2007年 5月	代表取締役社長に星山 健 就任
2009年 4月	「希少金属の回収方法」特許取得
2009年 12月	安全性優良事業所認定証（Gマーク）取得
2010年 8月	埼玉工場・リサイクルセンター開設
2011年 6月	トラック運送事業について「グリーン経営認証」に登録
2011年 10月	国土交通省近畿運輸局より優良自動車運送事業者表彰
2011年 12月	優良産業廃棄物処理業認定取得
2011年 12月	優良産業廃棄物収集運搬業認定取得
2013年 10月	「希少金属の製造方法1」特許取得
2014年 1月	「希少金属の製造方法2」特許取得
2014年 6月	社団法人全国産業廃棄物連合会より地方優良事業所表彰
2014年 8月	新在家工場に太陽光パネル設置
2015年 1月	「使用済トナーカートリッジ解体処理装置」特許取得
2015年 2月	「酸化インジウム系化合物を含むプラスト処理物の濃縮方法」特許取得
2015年 4月	「希少金属の製造方法3」特許取得
2015年 10月	西面工場拡張、第2工場竣工
2015年 11月	埼玉工場に太陽光パネルによる発電所を開設
2017年 3月	「ISO14001：2015」認証取得
2018年 8月	大阪北部地震における茨木市の災害廃棄物処理業務に協力
2019年 7月	公益財団法人廃棄物・3R研究財団より プラスチックリサイクル高度化設備補助金事業に採択
2019年 11月	埼玉工場のプラスチック高度化設備が本格稼働
2020年 11月	令和2年度「安全性優良事業所大阪運輸支局長表彰」を受ける
2021年 6月	グリーン経営「永年登録事業所」として表彰を受ける
2022年 4月	「混合粉砕片材料の分別回収システム及び分別回収方法」特許取得
2022年 12月	「複合材料の分別回収システム及び分別回収方法」特許取得

環境にやさしい未来を創る

—資源循環型社会への未来を拓く—



拠点案内

西日本事業部

本社

総務部門・営業部門

〒566-0055

大阪府摂津市新在家二丁目1番1号

TEL 06-6827-1010

FAX 06-6827-5525



新在家工場

OA関連リサイクル事業

〒566-0055

大阪府摂津市新在家二丁目1番1号

TEL 06-6827-6160

FAX 06-6827-5526



安威川工場

廃プラスチック・ 廃ガラスリサイクル事業

〒566-0051

大阪府摂津市安威川南町3番37号

TEL 072-653-3803

FAX 072-653-5166



柱本物流センター

リサイクル商品出荷 収集運搬事業

〒569-0846

大阪府高槻市柱本新町5番1号

TEL 072-677-4111

FAX 072-677-4112



西面工場 第1工場

有価物事業

〒566-0847

大阪府高槻市西面南三丁目22番1号

TEL 072-678-6756

FAX 072-679-3908



西面工場 第2工場

有価物事業

〒566-0847

大阪府高槻市西面南三丁目22番1号

TEL 072-678-6756

FAX 072-679-3908



東日本事業部

東日本事業部

業務部・営業部

〒349-1213

埼玉県加須市栄496番地1号

TEL 0280-62-5731

FAX 0280-62-5732



埼玉工場

OA関連・廃プラスチック リサイクル事業

〒349-1213

埼玉県加須市栄496番地1号

TEL 0280-62-5731

FAX 0280-62-5732



環境方針

産業廃棄物処理・リサイクル事業者として、排出事業者様からの処理の委託を受け、これらの産業廃棄物或は有価物の収集・運搬を行い、中間処理し、リサイクル・リユース・販売する活動において、地球・地域社会の環境保護のコミットメントを果たすため、当社における環境影響の低減に努め、環境マネジメント活動を自主的・積極的に展開していくことを経営の最優先課題の一つとして強く認識し行動します。



CSR（企業の社会的責任）活動の推進

昨今、企業の社会的責任（CSR）が社会的に大きな注目を集め、その要求は急速に高まっています。

企業は、社会的な存在として、高い倫理観に基づく経営体制の基に、お客様、社員、地域社会を形成する皆様との「信頼」を大切にされた事業運営を行う責任があると考えます。私たちは、この基本姿勢のもとCSR活動に取り組み、社会から永続的に信頼され、必要とされる企業であり続けます。

CSR基本方針

1.事業を通じての社会貢献

総合リサイクル事業者として環境問題への取り組みはもちろん、安全かつ良質なサービスをお客様に提供するとともに豊かで活力のある社会の構築に貢献します。

2.企業倫理

倫理や法体系、道徳観などが多様であるグローバルな事業環境において、公正で誠実な事業活動を行うとともに、高い企業倫理に基づいた行動をとり、公正で透明性の高い情報開示を実施し、ステークホルダーへの責任のある対応を行います。

3.環境保全活動と社会的責任意識の共有化

環境と調和し、環境に与える負荷を低減するとともに限りある資源の有効活用を行い、全ての取引先様に協力を求めて、社会的責任意識を共有化し公正かつ健全な事業活動に努めます。

ISO14001更新審査・登録

環境マネジメントシステムへの構築の経緯とISO14001認証取得及び更新状況

ダイトクは2000年より環境マネジメントシステム（EMS）の構築に着手し、管理状況を調査しました。その結果、地球環境を継続的に改善させるにはEMSの構築が重要であると考え、工場機能である産業廃棄物の資源リサイクル処理業務で2001年3月にISO14001の認証を取得致しました。

2003年7月に産業廃棄物処理業務に関わる全工場の認証取得を経て、2013年3月に4回目の同認証更新登録を完了致しました。

さらに2014年4月には有価物加工工場の認証も取得しております。

2017年3月には「ISO14001:2015」認証を取得致しました。



ISO14001:2015登録証

企業プロフィール

産業廃棄物処分量【中間処理品目】

許可行政名	大阪府	
許可番号	第02720017163号	
事業区分	中間処理	破碎・切断
許可品目	1.廃プラスチック類	
	2.ゴムくず	
	3.金属くず	
	4.ガラスくず	
	石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く。	
	以上4種類	

許可行政名	埼玉県	
許可番号	第01120017163号	
事業区分	中間処理	切断分離・切断、圧縮梱包・切断、破碎・破碎・圧縮梱包
許可品目	1.廃プラスチック類	
	2.金属くず	
	3.紙くず	

優良産業廃棄物処分量・収集運搬業認定取得



産業廃棄物処分量
許可証（大阪府）



産業廃棄物処分量
許可証（埼玉県）



産業廃棄物収集運搬業
許可証（大阪府）



産業廃棄物収集運搬業
許可証（埼玉県）

処分2行政・収集運搬業42行政（※特管含む）すべての許可に優良認定を受けております

許可証・証明書



古物商（事務機商・
機械工具商）金属くず商

解体工事業登録
通知書（大阪府）

解体工事業登録
通知書（兵庫県）

遊技機リサイクル
業者選定証

廃棄物再生事業者
登録証明書

第一種フロン類回収業者
登録通知書（大阪府）

産業廃棄物収集運搬

42行政（※特管含む）よりすべての許可に優良認定を受け、産業廃棄物の収集運搬を行っています。

産業廃棄物収集運搬業許可一覧																			
No.	許可行政名	許可番号	許可品目																
			燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	鉱さい	がれき類	ばいじん	特別管理
3	岩手県	優 第00300017163号	●				●	●	●	●				●	●	●			
4	宮城県	優 第00400017163号	●				●	●	●	●				●	●	●			
5	福島県	優 第00707017163号	●				●	●	●	●				●	●	●			
6	茨城県	優 第00801017163号	●				●	●	●	●				●	●	●			
7	栃木県	優 第00900017163号					●	●	●	●				●	●				
8	群馬県	優 第01000017163号					●	●	●	●				●	●				
9	埼玉県	優 第01110017163号					●	●	●	●				●	●				
10	千葉県	優 第01200017163号					●	●	●	●				●	●				
11	東京都	優 第1300017163号					●	●	●	●		●	●	●	●				
12	神奈川県	優 第01403017163号					●	●	●	●				●	●				
13	石川県	優 第01709017163号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
14	福井県	優 第01802017163号		●	●	●	●	●	●	●				●	●				
15		優特 第01852017163号															●	●	●
16	長野県	優 第2009017163号		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
17	岐阜県	優 第02100017163号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
18		優特 第02150017163号															●	●	●
19	静岡県	優 第02201017163号					●							●					
20	愛知県	優 第02300017163号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
21	三重県	優 第02400017163号	●	●	●	●	●	●		●		●		●	●	●	●	●	
22		優特 第02450017163号															●	●	●
23	滋賀県	優 第02501017163号		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
24		優特 第02551017163号															●	●	●
25	京都府	優 第02601017163号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
26		優特 第02651017163号															●	●	●
27	大阪府	優 第02700017163号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
28		優特 第02750017163号															●	●	●
29	兵庫県	優 第02803017163号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
30		優特 第02853017163号															●	●	●
31	奈良県	優 第02900017163号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
32		優特 第02950017163号															●	●	●
33	和歌山県	優 第03000017163号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
34		優特 第03050017163号															●	●	●
35	鳥取県	優 第03101017163号		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●				
36		優特 第03151017163号															●	●	●
37	岡山県	優 第03308017163号		●	●	●	●	●						●	●	●	●		
38		優特 第03358017163号															●	●	●
39	広島県	優 第03400017163号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
40		優特 第03450017163号															●	●	●
41	山口県	優 第03500017163号		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●				
42	徳島県	優 第3600017163号		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●				
43	福岡県	優 第04000017163号		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
44	大分県	優 第04402017163号		●			●	●	●	●				●	●				

収集運搬部

収集運搬車両

あらゆる産業廃棄物を敏速に収集運搬し、確実にそして適正に処理業者に運び入れが可能な充実した車両を保有しております。



大型ウィング車



10tローリー車



4tウィング車



4tパッカー車



大型平ボディ車



10tコンテナ車



4tゲート車



4t平ボディ車



10tダンプ車



8tコンテナ車



4tコンテナ車



4tユニック車

大型ウィング	5台
大型平ボディ	1台
10tダンプ	2台
10tローリー	1台
10tコンテナ	1台
8tコンテナ	1台
4tウィング	3台

中型ウィング	1台
4tゲート	2台
4tコンテナ	5台
4tパッカー	3台
4t平ボディ	2台
4tユニック	1台
3tコンテナ	1台
計	29台

グリーン経営認証・Gマーク認定

2011年6月にグリーン経営認証を受け、2012年12月には公益社団法人全日本トラック協会より安全性優良事業所（Gマーク）の認定を受けました。さらに、功績を認められ令和2年度には安全性優良事業所大阪運輸支局長より表彰を受けました。これからも、営利性の追求と環境保全への配慮の両立を図りながら、安全性向上を目指し、より一層推進してまいります。



グリーン経営認証登録証



安全性優良事業所認定証
(Gマーク)

Contents 01

「分別・選別の必要な製品在庫処理」

段ボール等に梱包された、商品価値の無くなった製品の廃棄処理に関して、「中身の物を分別しなければ、処理業者がなかなか受けてくれない」、「転用されないか不安」等の問題があり、適正な価格で、安全な廃棄処理委託先の選定にお困りになられるかと思います。
ダイトクでは、開梱して分別・選別を行い、その素材に応じた適切なリサイクル及び適正処理を行い、安心してお任せ頂ける処理を行っております。

廃OA機器類処理

デスクトップパソコン、ノートパソコン等、データ等流出の恐れのある処理に関して、ダイトクは、手解体による分別・選別、データ消去機によるデータ破壊、物理破壊を行い、情報セキュリティ流出に関する対策を考慮した処理を行っております。
各素材に分別され、再生資源材としてマテリアルリサイクル致します。

データ流出防止対策

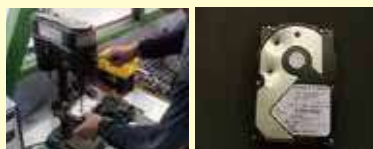
データ流出の恐れのある、ハードディスク等の処理に関して、ダイトクでは、磁気破壊及び物理破壊により、最終は精錬会社にて希少金属抽出を行い、安全且つ、付加価値の高いマテリアルリサイクル処理を行っております。
施設の防犯、作業専任者の特定並びに、施工前・施工後のハードディスクの施錠保管等にも、しっかり気を配り、対策を行っております。

データ破壊



専任の作業員にて強力な電磁波をハードディスクに与えることでデータ破壊をいたします

物理破壊



データ破壊後のハードディスクのデータが保存されている部分に穴をあけ、目に見える物理破壊を行い完全破壊をいたします



専用鍵付きカゴにて保管



廃トナーカートリッジ処理

使用済み廃トナーカートリッジ処理について、粉塵爆発の恐れのある処理困難廃棄物として、処理委託を受ける業者が限られてきています。

ダイクでは、粉塵爆発防止設備にて、トナーを集塵し、マテリアルリサイクル及びサーマルリサイクルにて、安全且つ、適正に処理が可能です。

【金属カートリッジの場合】



カートリッジの切断後、付着したトナー粉をエアーで吹き飛ばし、集塵機で強力に集塵し、トナー粉を取り除き、トナー粉抜き後は、金属・廃プラスチック類と分類し、それぞれ再資源化（売却・燃料化）となります。

リサイクルで廃棄物に夢を与える



Contents 02

「廃プラスチック類のリサイクル」

国内の廃プラスチック排出量はここ10年微減、廃プラスチックの有効利用料は微増の傾向にあります。有効利用率は8割を超えております。

資源として収集された廃プラスチックのリサイクルは下記の3つの手法に大別されます。

マテリアルリサイクル 廃プラスチックを原料としてプラスチック製品に再生する手法で、『材料リサイクル』といいます

ケミカルリサイクル 廃プラスチックを化学的に分解するなどして、化学原料に再生する手法です

サーマルリサイクル 廃プラスチックを固形燃料にしたり、焼却して熱エネルギーを回収する手法です

マテリアルリサイクル

ダイトクでは早くから確かな作業フロー・厳しい選別・検品を行い単一素材による再資源化に特化してリサイクルをしております。



今まで最終処分されていたPVCシートも切断・破碎・分離の再生処理をすることにより、マテリアルリサイクルを可能にしました。



再生事業者・原料メーカー

※再生原料としてマテリアルリサイクルされます。

ケミカルリサイクル

廃プラスチック類は、塩素系樹脂（PVC・PVDC他）、非塩素系樹脂に大別することができます。ダイトクでは、提携会社との協力により、プラスチック部分がPVC（ポリ塩化ビニル）のPTPシートを、破碎後、鉄分含有焼却灰や有機物（紙、木）と混合して押出成型機に投入し、高炉用の気泡抑制剤（フォーミング抑制剤）を製造しております。この「ケミカルリサイクル」により、今まで埋立処分・焼却されていた塩素系樹脂の再生が可能となりました。



フォーミング抑制剤

サーマルリサイクル

マテリアルリサイクルできないプラスチック類は、燃原料化として、製紙会社・セメント会社への出荷をしております。

二次処理会社として大手セメント会社と提携しており、安定的な処理フローを構築いたしております。

製紙会社

燃料代替としてサーマルリサイクルされます。

セメント会社

可燃成分は燃料代替として、不燃成分は原料代替（セメント原料化）として完全リサイクル（ゼロエミッション）されます。

（固形燃料化）



RPF製造ライン



RPF
(固形燃料)

燃料使用業者

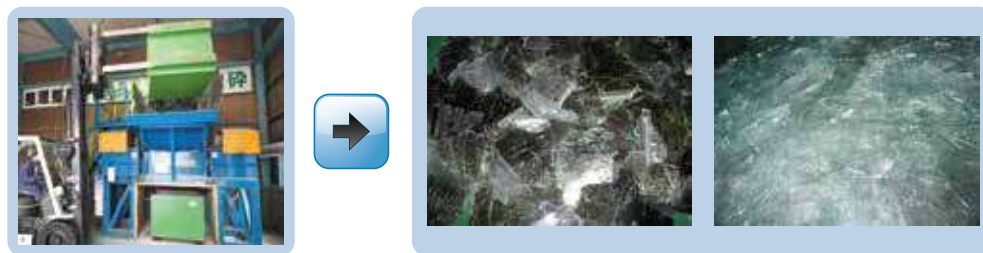
Contents 03

「ガラス類のリサイクル」

ダイトクのガラスリサイクル処理は、板ガラス、液晶モニターガラス・モジュール等、あらゆる廃棄ガラスリサイクルに対応しており、環境にやさしい処理技術を構築しております。

ダイトクにて破碎後、再生事業者に出荷分はガラス原材料としてマテリアルリサイクルされます。セメント会社に出荷分は焼成という高温（1450℃）での処理を連続的に行い、セメント製品に変わります。（ゼロエミッション化）

【セメントの原料は石灰石・粘土・けい石・酸化鉄で、ガラスくずはけい石の代替原料として利用】



Contents 04

「金属類のリサイクル」

廃サプライ品資源の有効利用と廃棄物の最小限化

金属のリサイクルに関しては、金属そのものの付加価値を高めるために、提携会社のヤードでの「シビアな選別」を徹底し、鉄・非鉄・稀少金属などあらゆる金属類のリサイクルを図っています。

分別・解体後は再生事業者・原料メーカーにて再生原料としてマテリアルリサイクルされます。

鉄 屑

ステンレス屑

アルミ屑

銅 屑

電子部品屑



Contents 05

「有価物事業 廃プラスチック・金属類を買取」

プラスチック樹脂にはたくさんの種類があり、製法や性質が異なり、買取の相場も変動しますが、ダイトクはあらゆるプラスチック樹脂の買取をさせて頂いております。多くの廃プラスチック類が廃棄物となる中、しっかりとした品質管理にて、国内原料化・海外原料化を実現できるフローを幅広いネットワークを活用し、構築しております。産業廃棄物処分業許可を保有しており、コンプライアンス重視で処分から再資源化までのフローをご提案できます。



機械・設備等の金属の買取させていただきます。
有価物のご相談はダイトクにお任せください。



Contents 06

「設備撤去から産業廃棄物処理までトータルサポート」

設備撤去から産業廃棄物処理までトータルサポートいたします。
有価物の買取により設備撤去の費用を抑えることができます。
困りごとはまずご相談ください。

◎ 撤去廃却工事フロー

1. 現地調査

- ✓ 規模・構造
- ✓ 有価物の種類・数量
- ✓ 産業廃棄物の種類・数量
- ✓ 残存物・付着物の有無
- ✓ 有害物質の有無
- ✓ 周辺状況の確認

2. 分別解体計画

- ✓ スクラップ処理先決定

3. 御見積書提出

4. 工事請負契約

- ✓ 産業廃棄物処理委託契約締結

5. 工程表作成

- ✓ 撤去工法の確認

6. 事前作業

- ✓ 行政関係書類
- ✓ 現場責任者の設置

7. 設備撤去実施

- ✓ 有価物買取
- ✓ 産業廃棄物の処理

8. 完了報告

- ✓ 施主及び行政へ工事完了報告

設備撤去を一括管理でご提案させていただきます。

・ ライン撤去・遊休設備・廃液タンク・大きな設備・長尺設備 etc

安全施工一括管理を実現

設備撤去

重量物搬出

産業廃棄物処理

有価物買取



Contents 01

「プラスチック高度リサイクル・システム『ドックス』」

プラスチック+アルミの混合物を選別によりマテリアルリサイクル

『ドックス』（Daitoku Optical & Hydro-Cyclone Sorter Systemの頭文字DOCSS）は、ダイトクが独自に開発したプラスチックの選別システムで、光学式選別と遠心力を利用した湿式比重選別とを組み合わせ、対象となるプラスチックのみを選別するシステムです。

『ドックス』は、国内循環型設備です。

現在は埼玉工場において、コンタクトレンズ破砕品（プラスチック+アルミの混合）からターゲットとなるプラスチック（PP=ポリプロピレン）のみを選別、これまでのサーマルリサイクル処理から、その多くをマテリアルリサイクル処理へと高度化しております。『ドックス』で選別された少量の残さはセメント会社によりサーマルリサイクルされ、選別された99%以上のPPとアルミは再生事業者によりマテリアルリサイクルされ国内での処理を確立しております。

排出事業者様

(株)ダイトク『ドックス』



分別前



ドックスは、平成30年度(第2号補正)二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(省CO2型リサイクル等高度化設備導入促進事業)の補助事業に採択されました。



PP



アルミ

再生事業者によりマテリアルリサイクル

特許取得

ダイトクでは早くから開発の大切さに着目し、新しい技術開発に挑んでまいりました。新しい技術開発で将来的にはメーカーに資源を提供できる、そんな積極的なリサイクル技術の研究開発に果敢に取り組んでまいります。

複合材料の分別回収システム及び分別回収方法

このシステムは（これまでほとんどが廃棄処理されていた）PTPシート（葉パッケージシート）やアルミ付きフィルムなどの、合成樹脂と金属箔がシート状に積層された複合材料のリサイクルを可能にするため開発を行い、剥離・洗浄・水分除去・分別という4つのステップを組み合わせることで優れたリサイクル性で分別回収することに成功しています。

またこのシステムは食料品包装フィルムなどPVCとアルミニウムの多層フィルム等にも応用できます。

特徴は、複合材料をベンジルアルコール水溶液で剥離し、それを洗浄した後水分除去を行う事で、複合材料の間に隙間を与え、振動や風力など外力を以て分別できるようにしています。

この技術により当社では、材料の粉砕や破砕が不要、剥離工程においても攪拌が不要な低エネルギーで、さらに臭気を抑えたクリーンなリサイクルを可能としています。

複合材料の分別回収システム及び分別回収方法 特許証第7190228号



混合粉砕片材料の分別回収システム及び分別回収

2022年4月14日に「混合粉砕片材料の分別回収システムおよび分別回収方法」の特許を取得いたしました。

このシステムは、合成樹脂と金属の混合粉砕片を選別することを目的に開発を行い、遠心分離（液体サイクロン）、送風による異物除去、そして光学式選別を組み合わせることで、例えばコンタクトレンズの個別包装容器などの複合材料を完全に分別することに成功しています。

システムの特徴は、複数の工程を一気通貫の工程として効率よく選別ができるようにしたこと、また工程の受け渡しで発生する不具合をシリコンエマルジョンで対応して精度の高い選別としたことです。

このシステムにより、これまでサマールリサイクルしか選択肢がなかった複合材料のリサイクル分野において、再資源化（マテリアルリサイクル）が可能となりました。

混合粉砕片材料の分別回収システム及び分別回収方法 特許証第7058436号



使用済トナーカートリッジ解体処理装置

使用済トナーカートリッジを、安全にかつ効率よく、しかも低コストで解体することができる装置で、2011年6月に出願し、2015年1月9日に特許取得致しました。

本装置の大きな特徴は、破砕ユニットで使用済トナーカートリッジを押し切り（解体し）、次いでベルトコンベアー上を搬送される各破片を、エアージェット洗浄ユニットによって洗浄し、トナーを吸引回収する構成となっていることです。

この構成により、解体処理中に内部の空気を絶えず外部に吸引排気するので、装置内のトナー濃度を爆発下限以下に維持し、粉塵爆発の発生を防止することができ、また、破砕片に付着したトナーを圧縮空気の噴射によって剥離浮遊させて回収し、破砕片を十分に洗浄することができ、結果、プラスチック材料と金属材料の再資源化が容易になります。

使用済トナーカートリッジ解体処理装置 特許証第5674565号

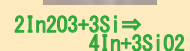


廃LCDからのインジウム金属回収

本特許は廃棄物同士を安全に反応させて、有用な稀少金属資源を安価に回収する技術で、当社と東北大学の共同研究により、2008年8月20日に発表2009年4月17日に「稀少金属の回収方法」として特許取得いたしました。

また、有用な稀少金属資源をより効率よく回収する為、東北大学との共同研究を進め、2013年10月25日に「稀少金属の製造方法」として特許を取得いたしました。さらに、稀少金属資源の回収方法の多様化を図るため、2014年1月10日及び2015年3月20日に「稀少金属の製造方法」として新たに特許を取得いたしました。

また、2015年2月13日には、プラスト材に燃焼が容易な植物系材料を用いた「酸化インジウム系化合物を含むプラスト処理物の濃縮方法」について特許を取得しております。



反応によって得られたIn（インジウム）

ご挨拶

1976年設立以来、焼却を軸として産業廃棄物の減量化、リサイクルに努めてまいりました。

大気、水質、土壌の高い環境基準を達成し、無害化を実現しております。法令で定められた優良基準にも適合しており、優良産廃処理業者の認定を受け、一層のコンプライアンスの徹底と適正処理に努めてまいります。

地球にやさしい環境を維持するとともに持続可能な資源循環型社会の実現に向けて邁進していきます。

代表取締役社長 星山 健

Company overview

商 号：大阪クリーンテック株式会社
所在地：〒566-0051
大阪府摂津市安威川南町3番28号
TEL：072-654-2467（代）
FAX：072-653-5335
設 立：昭和51年7月
資本金：8,000万円
代表者：代表取締役社長 星山 健
従業員数：25名
事業内容：産業廃棄物処理及び再生利用
その他付帯する業務

グループ会社：株式会社ダイトク

昭和51年 7月・・・株式会社ヤマト設立
昭和60年11月・・・中間処理（焼却）許可取得
平成 2年 9月・・・大阪クリーンテック株式会社に社名変更
平成 3年 1月・・・本社ビル新築
平成 3年 1月・・・ストーカー式連続式焼却炉完成
平成 5年 7月・・・廃液中和施設設置
平成12年12月・・・蒸発晶析装置設置（廃液処理用）
平成14年 5月・・・排ガス冷却装置・廃熱ボイラー設置
平成14年 7月・・・第2ヤード160kw1軸式破碎・圧縮・梱包装置完成
平成14年 9月・・・焼却炉排ガス集塵機バグフィルター設置
平成16年 6月・・・第1ヤード110kw2軸式破碎機設置
平成23年10月・・・環境マネジメントシステムエコアクション21認証取得
平成25年 6月・・・代表取締役社長に星山 健 就任
令和 3年 2月・・・産業廃棄物処理業優良認定取得

取扱い産業廃棄物



産業廃棄物処分業
許可証（大阪府）

許可品目
廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残渣・金属くず・ガラスくず



特別管理産業廃棄物処分業
許可証（大阪府）

許可品目
廃酸・廃アルカリ



産業廃棄物収集運搬業
許可証（大阪府）

許可品目
燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残渣・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・鉋さい（兵庫県のみ）・がれき類・ばいじん（大阪府のみ）



産業廃棄物収集運搬業
許可証（兵庫県）

焼却設備概要

焼却能力

80t/日

焼却設備

ストーカー式
焼却炉

保管設備

1482.7m³

廃液のり類

250m³

補助機械

自動投入クレーン
自動灰出し装置
粗大物破砕機
ガス冷却室
廃液濃縮装置
廃液中和装置
バグフィルター
ばいじん混練装置

施設の特徴

無公害化

- ・排ガス中の有害物質やばいじんはガス冷却装置、反応剤供給により、バグフィルターで除去しダイオキシン等の有害物質の発生を抑制しています。
- ・廃液等の臭気対策として、密閉タンク貯蔵後、廃液焼却炉で高温焼却し、臭気成分をも完全に焼却熱で分解します。
- ・工場内の作業汚水等は、クローズドシステムにし、焼却処理します。

完全燃焼化

- ・多様な廃棄物をストーカー式焼却炉で高温燃焼させ効率よく完全に焼却処理します。

省力化

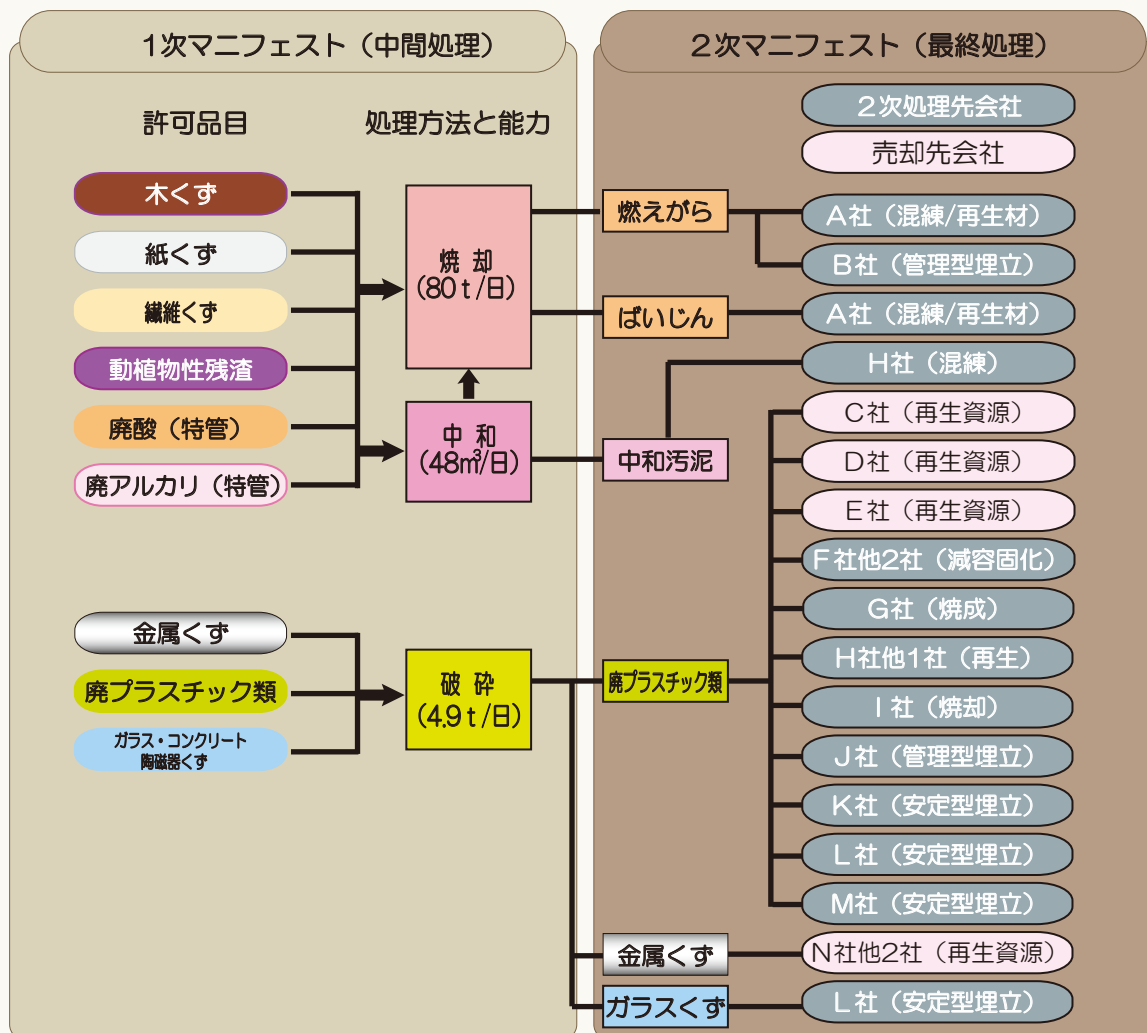
- ・各設備機器の自動化により、運転操作は極めてシンプルであり安定した処理が可能です

車両台数・主要設備

車両台数	車 種	台数
	1.5 t 普通トラック	1
	ユンボ	2
	ショベル	1
	リフト	3
	合 計	7

主要設備	名 称	台数	
	破砕機	2	木くず廃プラ破砕用
	焼却炉一式	1	焼却用
	バグフィルター	1	排ガス浄化用
	蒸発晶析装置	1	廃液処理用

処分業許可品目及び処理フロー



製品廃棄処理

製品廃棄処理の業者を選ぶことに頭を抱えているお客様は多いと思います。
 廃棄依頼した製品が流用される、ましてや市場に流されるなどは決してあってはならないことです。
 大阪クリーンテックではすでに多くの企業様より定期的に製品廃棄処理のご依頼を頂戴しております。

- 万全なセキュリティ体制にて、お客様の製品情報を漏洩することなく管理
 - 厳格な受入体制にて、確実に適正処分
 - お客様の立会確認対応
 - 廃棄証明の発行
 - 写真撮り
- 上記以外にも可能な範囲で対応させていただきます

冷凍食品、飲料、お菓子、果物などの食品から、衣料、景品や付録のおもちゃの廃棄など、どんな製品廃棄処分でもご相談ください。

TEL:06-6827-1010
<https://www.daitoku-s.com>



 **Daitoku Co.,Ltd.**

